

人文学部卒業研究

雑誌『このライトノベルがすごい!』分析:

題 目 キャラクターに着目して

指導教授 小川 順子

印

提出年月日 2018年 12月 17日

学籍番号 HI15056

氏 名 水野 裕太

お願い

本卒業研究は、著作権の関係上、指導教員または執筆者本人の許可を得たうえでの閲覧のみを許可し、複写およびPDF等によるデータの受け渡し等は、一切禁止する。

万が一、禁止が破られトラブルが発生した場合、本卒業研究の関係者は一切の責任を負わない。

何卒ご了承ください。

要旨

本論の目的は、宝島社が刊行する『このライトノベルがすごい!』シリーズの中の「女性キャラクター部門」「男性キャラクター部門」に着目し、キャラクターの変遷について明らかにするものである。

これまで、ライトノベルのキャラクターについて分析が行われてきた。しかし、その中で使用される『このライトノベルがすごい!』シリーズについて分析されているものは少ない。そこで、「女性キャラクター部門」「男性キャラクター部門」に着目し、上位10位までのキャラクターについて、「容姿」「年齢」「性格」「その他の特徴」の項目を設定し、インターネットのサイトからそのキャラクターの特徴を収集し、分析を行っていく。

本論の構成は以下のとおりである。第1章で、まず「ライトノベル」とはなにかをまとめた。ライトノベルについては定義があいまいであるため、「主として中学生から大学生にかけての学生を想定読者とし、まんがやアニメーションを想起させるイラストを添えて出版された小説群のこと。また、物語の作中人物も、まんがやアニメーションに登場する『キャラクター』として描かれるキャラクター小説」(大橋 2014:41)を本研究の定義とした。第2章では、『このライトノベルがすごい!』シリーズの分析である。2005年～2018年までの14年間についてそれぞれ、女性・男性キャラクターを上記の4つの項目について分析をした。第3章では各項目の分析結果をまとめ、結論付けた。「レーベル」については「電撃文庫」のキャラクターがほとんど占める中、残りのレーベルが変化を見せていた。2010年前と2010年以降で「富士見ファンタジア文庫」「角川スニーカー文庫」のように時代が経過するごとに減る物もあれば、「ガガガ文庫」のように時代が経過するごとに増えていくものもある。

一方で「容姿」「年齢」「性格」「その他の特徴」については、それぞれ細かく年代ごとに見ていくと、年度ごとによってランクインするキャラクターの変化によって小さな変化もあれば、大きな変化も見られる。しかし、「全体」として、「10年代前」「10年代以降」として見たときは、変化していないように見えることもあった。それは、ライトノベルと言うのは、娯楽であり読んで楽しむものである。よって、どんなに時代が流れても変わらないライトノベルを読む読者が期待するキャラクターへの思いは自分の好きなものであり、だからこそ変化しない部分であると考えられる。

キーワード

『このライトノベルがすごい!』 ライトノベル キャラクター 変遷 レーベル 性格

目次

序論.....	1
第1章 ライトノベルとは.....	2
1. ライトノベルの言葉の起源.....	2
2. ライトノベルの定義.....	3
第2章 『このライトノベルがすごい!』分析.....	4
1. 2005年.....	4
2. 2006年.....	6
3. 2007年.....	7
4. 2008年.....	9
5. 2009年.....	11
6. 2010年.....	13
7. 2011年.....	15
8. 2012年.....	17
9. 2013年.....	19
10. 2014年.....	21
11. 2015年.....	23
12. 2016年.....	25
13. 2017年.....	26
14. 2018年.....	28
第3章 各項目の分析結果.....	30
結論.....	40
参考文献.....	41
分析対象.....	42
参考サイト.....	43